

令和五年度 学校関係者評価報告書

学校法人 秋吉学園 穴生幼稚園

1. 本園の教育目標

いつも明るく、心も体も強い子
自分で考え、自ら気づく子
ありがとう、ごめんなさいが素直に言える子
物を大切にし、人に迷惑をかけない子
規則を守り、集団生活に順応する子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

コロナの影響が低くなる中で、これまでの日常に加え新しい日常を取り込んでいくことで、物心両面で最善の保育を目指していく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	保育計画と内容	年齢による発達を考慮に入れた計画を作成し実践していく。
2	環境の構成	季節の変化を感じたり活動の目当てがわかりやすいように、壁面や飾りなどに工夫を凝らしていく。
3	保護者への対応・家庭支援・地域の関り	小学校へのスムーズな連携のために、詳細な情報を伝えるとともに、小学校に向けた準備としての保育を念頭に置き工夫していく。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

各職員が子ども達一人一人と真摯に向き合い、よりよい保育を行うという姿勢が見受けられる。今後も立ち止まることなくよりよい保育を追求していきたい。コロナが5類となり通常の保育に戻す一方で、衛生面・環境面では緩めることなく感染対策を継続した一年であった。園バスへの園児置き去り防止装置を早期に設置し同時に4名の人によるチェックを継続したり、通常保育内での出欠確認はもちろん、長期休暇中の預かり時でも予約が入っている場合は登園の有無の確認を行い園児の所在を確かめている。保護者への連絡について、担任との対面でお伝えすることを重視しているが、すれ違いがあるなどで素早く伝達できない場面がある。重要度・緊急度などによって電話やメールなどを使い、なるべく早く詳細にお伝えできるよう努めていく。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育計画と内容	計画の実践、振り返りを園全体の取組みとし、自分事と考えながら進めていく。
2	保育のあり方・子どもへの対応	子ども達への関わり方に差が生じないように、サポートの先生と連携して取り組んでいく。
3	地域の関わり	望ましい就学前児童をイメージするために学校生活を把握し、具体的な保育に参考にしていく。

6. 学校関係者の評価

- ・コロナが5類となった後も環境面や衛生面で引き続き対策に取り組んでいることに感謝します。
- ・園児のバスの置き去りが問題になったとき、保護者に対して早期に対策を報告してもらい安心することができました。
- ・園での様子を YouTube や写真で伝えてくれて、子どもの成長を感じ取ることができ、それを見ながら子どもと話をするのが楽しみです。
- ・今後も園児一人一人に向き合っていただき、たくさんの笑顔を引き出せるような保育をしていただけることを期待します。